

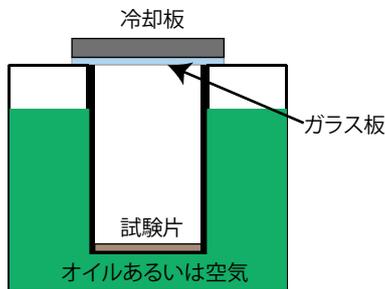
# ガラス霞み性試験(フォギング試験)

## ガラス霞み性試験(フォギング試験)の概要

自動車内装材(ゴム・プラスチック・繊維等)の添加剤や接着剤等から発生する揮発成分が温度差によりガラス面に付着し、視界を妨げる現象を試験します。

規定サイズの試験片をいれたビーカーをフォギングテスターに入れて加熱し、ガラス板を冷却板で冷やすことでガラス板に揮発性成分を凝縮させます。

揮発成分が凝集し、曇りが生じたガラス板の状態を測定します。



《フォギングテスター概略》

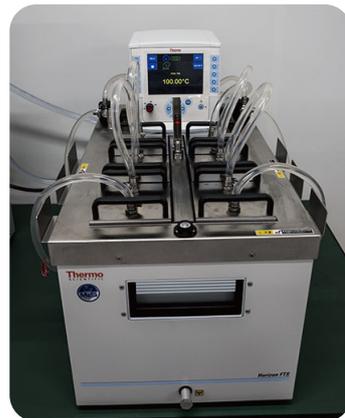
フォギングテスターには熱媒体としてオイルや空気を使用するものがあり、試験規格等により異なります。また、加熱温度や冷却板温度も試験規格等により異なる場合があります。

## フォギングテスター

TTCでは空気加熱式およびオイル加熱式のフォギングテスターを有しております。



《空気加熱式》  
スガ試験機製 4台



《オイル加熱式》  
Thermo Scientific製 1台  
ISO 6452対応

◎自動車メーカー様ごとで使用機材が異なる場合があります。

# ガラス霞み度評価

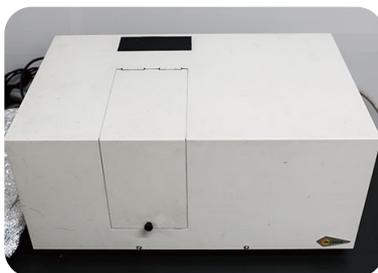
フォギングテスターにて加熱、凝集させたガラス板の霞み度は光沢計あるいはヘーズメーターなどで評価します。



デジタル変角光沢計  
スガ試験機製



光沢計  
コニカミノルタ製



ヘーズメーター  
スガ試験機製

# 付着物定性

ガラスの霞み度の状態によって付着物の定性をガスクロマトグラフ質量分析計 (GC-MS) 等で行います。



ガスクロマトグラフ質量分析計



**TTC** 一般財団法人 東海技術センター  
《ハイパーラボ 品質評価事業部》  
〒489-0977 愛知県瀬戸市坂上町420番地1  
Tel 0561-85-0384 Fax 0561-56-1590  
hinshitsu@zttc.or.jp <http://www.ttc-web.com>